

日本学術会議 フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会
持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会（第25期第12回）

議事要旨

日時 令和5年8月20日（日）11:00～11:40

会場 学術会議5階会議室+オンライン開催(Zoom)

出席委員：春日文子、窪川かおる、鈴木康弘、谷口真人、日置光久、氷見山幸夫、山形俊男、
小田宏信、小林亮、丹羽淑博

オブザーバー：

（ESD/SDGsカリキュラム小委員会）

新井雅晶、市瀬智紀、井上貴司、岩見理華、及川幸彦、佐々木哲弥、島田智、鈴木克徳、
棚橋乾、安田昌則

（海の学びカリキュラム小委員会）

小川博久、嵩倉美帆

（その他）

財城真寿美

事務局：齊藤美穂

資料

資料1：前回の分科会の議事要旨（案）

資料2：【委員名簿】FE 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会

資料3：【委員名簿】ESD,SDGsカリキュラム小委員会

資料4：【委員名簿】海の学びカリキュラム小委員会

資料5：学術フォーラム「SDGsの達成に資するESDカリキュラムの開発」ポスター

資料6：学術フォーラムポスター展示一覧

資料7：FE 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会報告(2023.8.2 現在)

議題

1) 議事要旨（案）の確認・承認

・前回の第11回分科会（5月30日開催）の議事要旨（案）の確認をおこない承認した。

2) 分科会に関する国際的・国内的動向

・春日委員と谷口委員より、6月26～30日にパナマで開催されたフューチャー・アース総
会と Sustainability Research and Innovation (SRI) Congress 2023 について報告があった。
SRI にはアカデミア分野とそれ以外の分野からのそれぞれ半々の参加者があり、トラン

スティプリナリー（超学際的）なセッションが多く開催された。従来の自然科学・社会科学的なセッションの他に、フューチャー・アースの最近の変化を反映して、インクルーシブ、エクイティ、先住民・植民地など人文科学的なテーマのセッションが増えた。

- ・春日委員より、7月10～12日にアジア・スポットライト・イベントをオンラインで開催したとの報告があった。本イベントはSRI2023の一環として開催したもので、日本を含むアジアの4つのフューチャー・アース・ハブ事務局が協力して成功裏に終えることができた。
- ・春日委員より、フューチャー・アース事務局が制作する最新のサステナビリティ研究の知見をまとめたレポートである“10 New Insights in Climate Science”について説明があった。現在、ポリシーレポートの制作を進めており、国連気候変動枠組条約（UNFCCC）締約国会議（COP）（‘23年11月30日～12月12日にUAE・ドバイにて開催）にて公表される。日本語バージョンのレポートも作成することになっている。
- ・春日委員と谷口委員より、フューチャー・アース日本ハブと総合地球環境学研究所（地球研）の共催で実施するTERRA（テラ）スクール（Transdisciplinarity for Early career Researchers in Asia School）について説明があった。この研修はアジアを中心とした若手研究者を対象としたもので、トランスディシプリナリー研究の手法・考え方を学びながら、実際にトランスディシプリナリー研究を実践している地域・フィールドに入って実習をおこなう。2019年度から毎年度実施し、今年度は11月に開催する。
- ・春日委員より、フューチャー・アースのアジア地域委員会が新たに設置されたことについて報告があった。その設置を記念する講演会が10月19日に韓国ソウルにてアジア学術会議の一環として開催される。
- ・日置委員と丹羽委員より、新たに設立する日本海洋教育学会について説明があった。プレ大会として海洋教育実践研究発表交流会を8月26日に東京大学理学部を会場にハイブリッドで開催する。世代・分野を超えた学会員を広く募集するために、年会費を抑えるとともにジュニア会員や学校会員といった会員区別も設けることになっている。
- ・小林委員より、12月18～20日に東京・青山の国連大学本部を会場に日本政府とユネスコ本部の共催で開催するESD for 2030の世界大会について説明があった。本大会では、2021年5月のESD世界大会でまとめられた「ESDに関するベルリン宣言」の行動枠組みに基づいて、SDGsの達成に向けた2030年までのロードマップを世界の関係者が集まり議論する。

3) 次期分科会への申し送り事項について

- ・氷見山委員長より、（資料7）に基づいて今期の本分科会の活動報告の内容について説明があった。
- ・次期への申し送り事項として、本分科会のミッションはオンゴーイングで継続すべきものであること、今期は学術会議の中でも先進的なことに果敢にチャレンジするという方針

で活動を続けてきたので、次期の分科会が設置された際も、この方針を引きつぎ、できるだけ早く活動を開始して、さらなる発展を目指すべきであることを確認した。

4) 学術フォーラムの打ち合わせ

- ・ 午後に開催する学術フォーラム「SDGs の達成に資する ESD カリキュラムの開発」の最終打ち合わせを行った。
- ・ ポスター発表者やユースコメンテーターなど児童・生徒の参加者の写真撮影など個人情報取り扱いの注意事項について確認を行った。
- ・ 講演の時間厳守の方法、ディスカッションの進め方について確認を行った。

5) その他

特になし